

学校だより



高松小学校

たかひば

～ひばりのように高く舞い上がれ～



令和6年 4月30日

注意されるとうれしくなります 褒められるともっとうれしくなります

校長 山崎 勝則

朝の会の途中、ある学担の先生から注意を受けました。「校長先生、音を立てないでもらえますか。」朝の会の途中、多目的ホールで掃除機をかけている時でした。その音が児童の集中力を切らせてしまったようです。真剣に児童に向き合い、徹底しようとしている先生方の言葉がとてもうれしく感じました。

放課後、窓ふきをしているといろいろな言葉をかけてくれる児童がいます。「きれいにしてくれて、ありがとう。」と感謝の言葉を伝えてくれる人がたくさんいます。「何で校長先生が掃除しているの。」と質問する人もいます。「何かきれいになったらうれしくない？」と問い返すと2通りの答えがありました。「私もそう思う。」「別に…」そして一番うれしかった言葉は「校長先生は、ピカピカ名人だね。」でした。「そうでもないよ」と言いながら、テンション爆上がりでした。

少し前のことですが、側溝のふたの下にネジを落としてしまっていて開けようとしていると数名の児童が手伝ってくれました。おかげでふたは開いたのですがネジが見つからないのです。ある児童が「校長先生、別のふたじゃない？」と言いました。隣に似たようなふたがあり、再度みんなでふたを開けました。するとそこには探していたネジが…。そこにいた人全員で大笑いしました。

人が何かをするとき、しようとするときには2つの大切なこと（動機づけ）があると思います。一つは「〇〇しよう」とする自分の意志です。そして、その意志を手助けするのは、「気づき」を与える注意や「行動」に対する肯定的な声かけです。もう一つは「行動したときの失敗」に対して安心感を与えることではないでしょうか。

高松小には「気づき」を与え、「行動」を褒め、「失敗」を笑い飛ばしてくれるたくさんの先生や児童がいます。「何かやってみたい学校」「安心して失敗できる学校」だなど、改めて強く感じました。



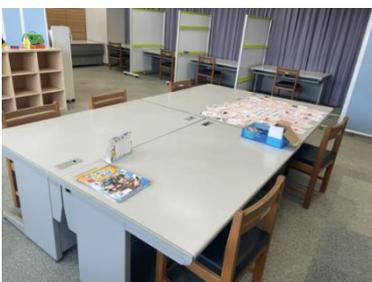
『ほっとる一む』（校内教育支援センター）が誕生しました

今年度、「ほっとる一む」という教室が3階の図書館の隣に誕生しました。かほく市としての施策で開設されました。

子ども達の中には様々な考え方や様々な壁を抱えている人がいます。そして誰にでも心に揺らぎが生じます。そんな時、名前の通り学校内で「ホッとできる」「ホットな気持ちでいられる」教室になればと考えています。保護者や地域の皆様にもご理解いただきたいと思います。

教室内のレイアウト

協働的な学びの場



個別最適な学びの場



くつろぎの場

